

<h2 style="margin: 0;">杵築地区(杵築市)</h2> <p style="margin: 0;">～ 九州豊後路の小京都 まち並み景観の再生～</p>	計画期間	平成21年度 ～ 平成30年度
	面積	36.5 ha
	全体事業費	96,500 千円
	市人口	32,811人 (うち地区内1,039人)

まちづくりの目標

歴史ある建造物の保存活用や杵築城下町にふさわしいまち並み景観を再生し、親しみと愛着の持てるまち並みづくりを図る。

主な事業内容と事業費・事業期間(計画)

修景施設整備(街なみ整備助成事業)

民間 60棟 6,900千円

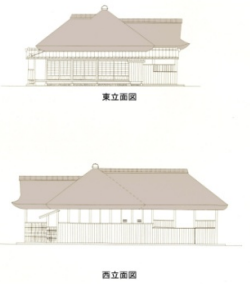
公共施設(大原邸・中根邸) 2棟 2,750千円

ストリートファニチャー整備 3基

ポケットパーク整備 1箇所



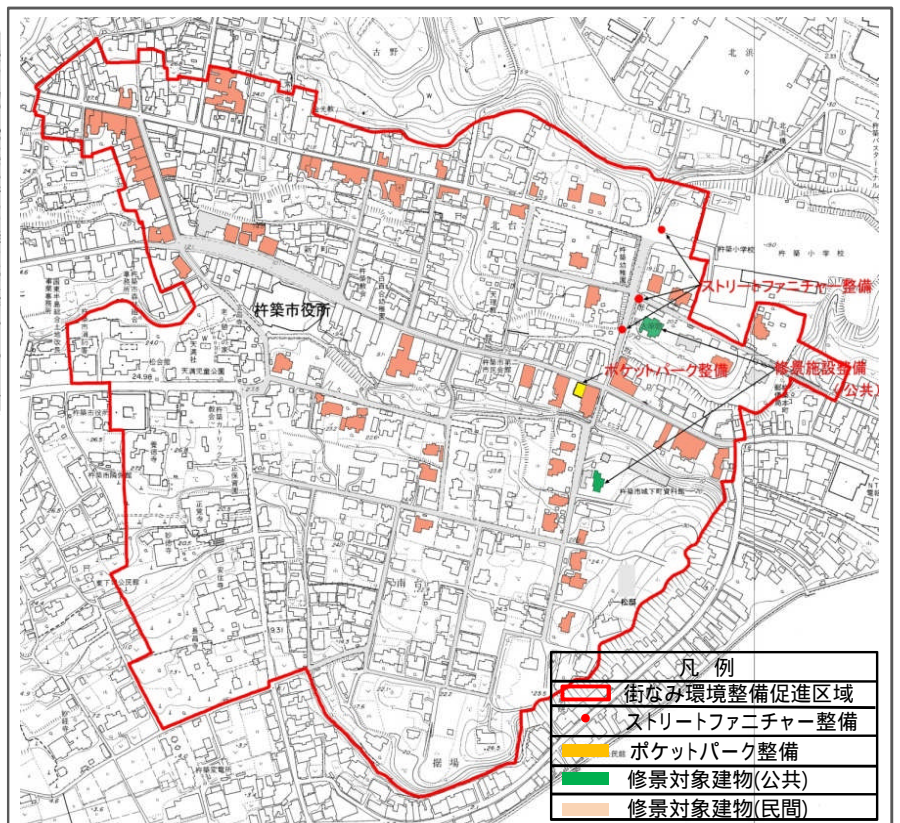
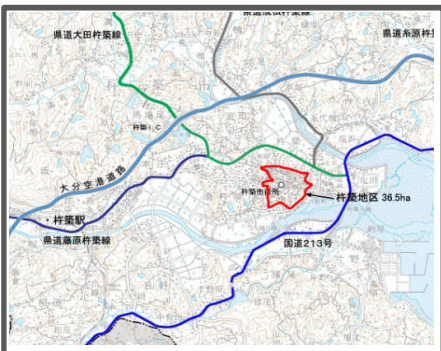
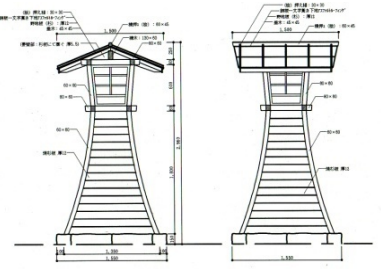
修景施設整備



棟修景



ストリートファニチャー整備



凡例	
 	街なみ環境整備促進区域
●	ストリートファニチャー整備
 	ポケットパーク整備
 	修景対象建物(公共)
 	修景対象建物(民間)

地区の歴史・風土

仏の里国東半島の南の玄関口に位置する九州豊後路の小京都 杵築は、カブトガニが生息する美しい守江湾を望む風光明媚な坂道の城下町です。江戸時代、松平三万二千石の城下町として栄えた杵築には今でも多くの武家屋敷や土堀、石畳の坂道が残されています。南北の高台に武士が住み、その谷間で商人が暮らしたまち並みは当時の身分制度を表した特徴的なものであり、このような凹凸のある「サンドイッチ型城下町」は日本唯一と言われています。

地区の現況と課題

近年、建物の老朽化や住民の高齢化により空家、空地が増えており、商店街の商業活力が低下してきています。また地区の景観に調和しない建物への建て替えが増え、杵築城下町の景観が失われつつあります。



昭和3年当時の杵築のまち並み(酢屋の坂)



街路宗近魚町線



北台武家屋敷通り



南台武家屋敷通り

事業取り組みと成果

景観に調和したまちづくりということで、市では古くからのまち並みの面影を残す北台・南台地区周辺の地域36.5haを街並環境整備促進地域とし、H21年度より修景施設整備事業を進めています。(事業では、地区内の公共施設や民間の住宅、堀などにも助成を行っています)



藩校の門 (堀の修復)



地区の主なイベント・食

市民の春祭りとして親しまれる「お城まつり」が毎年5月上旬に開催されます。会場の北台・南台の武家屋敷では江戸時代の衣装を身に着けた人々であふれ、その様子は江戸時代にタイムスリップしたかのように感じられます。恒例の「大名行列」や「花魁道中(おいらんどうちゅう)」、「和太鼓演奏」など魅力的なイベントが盛りだくさんです。

また、海の幸、山の幸に恵まれた杵築はまさに食べ物の宝庫。そんな地元の食材をふんだんに使った「きつきサンド」を日本唯一の「サンドイッチ城下町」にちなんで作りました。お越しになった際は、ぜひご賞味ください。



きつきお城祭り(5月上旬)



きつきサンド

地区のまちづくり協議会・地域の活動

地区の商店街の人を中心に共栄会、七夕会等のまちおこしの会を作り、歴史的まち並みを利用したお城祭りや観月祭等の行事を盛り上げ、町に賑わいをもたらしています。

これからの取り組み

本事業の実施により、まち並み保存・歴史を生かしたまちづくりを支援し、歴史ある建造物の保存活用や杵築城下町にふさわしいまち並み景観を再生し、親しみと愛着の持てる魅力あるまち並み形成を図っていきます。



観月祭(10月中旬)

事業のお問い合わせ先
杵築市
建設課 都市計画係
TEL 0978-62-3131